

# トルコのコミュニティポイントシステム Good4Trust

3C3S代表理事 西部 忠

専修大学経済学部教授

北海道大学名誉教授

グッドマナーラボ代表理事

# グッドマネーラボ(GML: since 2018)

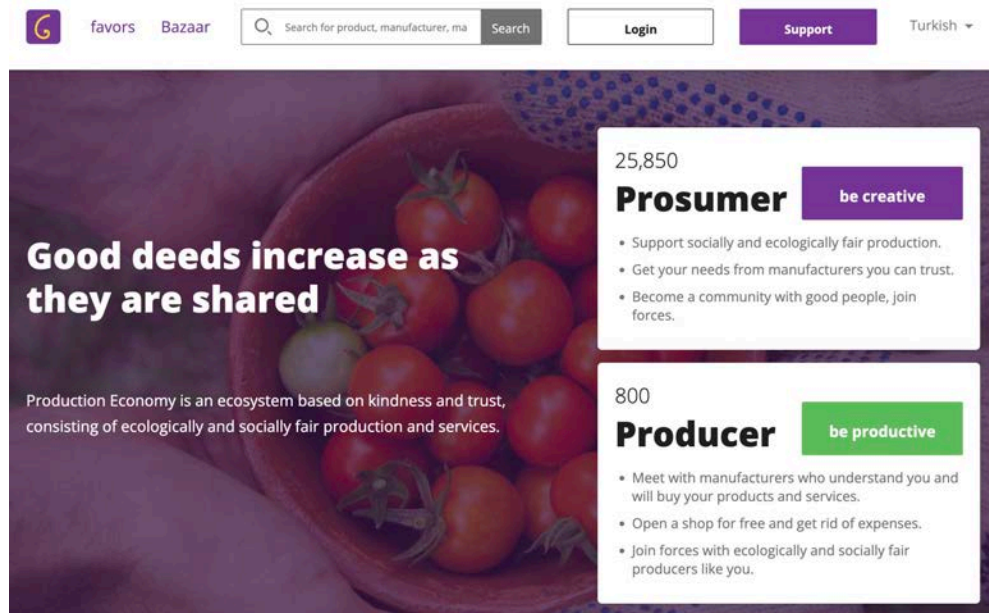


- 正式名称は「一般社団法人専修大学コミュニティ通貨コンソーシアムラボラトリー」、会員と研究員、産学官共同研究
- 目的: 地域通貨の仕組・理念と暗号通貨のフィンテックの融合、グッドマネーの探求・発見・実現
- グッドマネー: = 人々の多様な価値観と制度の多様性を前提に、QOLの観点からグッドライフを実現するための統合型コミュニケーションメディア(=お金+言葉)

# コミュニティポイントシステム Good4Trust

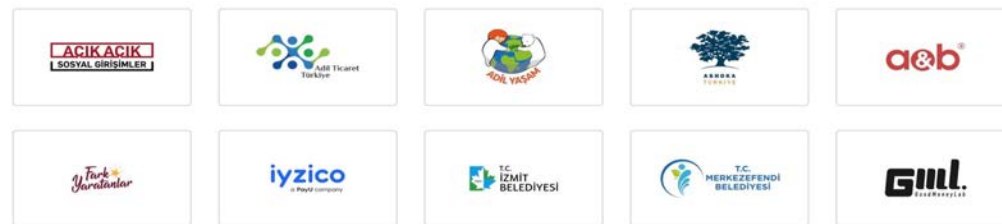
(<https://good4trust.org/>)

- コミュニティ通貨(CC)に類似のコミュニティ・ポイントシステム(COI内で使用可)、単位はTrust
- 大規模なオンラインバザール（800 の producer 販売企業商店と 25,850 の prosumer 倫理的消費者）
- 法定通貨リラで買い物すると5%分のTrustポイントが付き、次回以降の買い物で価格の30%までポイントが利用できる、ポイントは90日で失効
- 「1リラ=1ポイント」、ポイント換金不可、リラ原資積立なし。
- 課題は、失効ポイントのシステムへの累積が発行額の4割以上。



The screenshot shows the Good4Trust website interface. At the top, there is a navigation bar with a logo, 'favors Bazaar', a search bar, and buttons for 'Login' and 'Support'. Below the navigation bar is a large banner featuring a basket of tomatoes. The banner text reads: 'Good deeds increase as they are shared'. Below this, it states: 'Production Economy is an ecosystem based on kindness and trust, consisting of ecologically and socially fair production and services.' To the right of the banner, there are two statistics boxes. The first box is for 'Prosumer' with a count of 25,850 and a 'be creative' button. The second box is for 'Producer' with a count of 800 and a 'be productive' button. Both boxes list bullet points describing their roles and benefits.

## Our collaborations



# IPEC2024(International Prosumer Economy Conference)

- Good4Trust(good4trust.org, 代表Uygar Özesmi)が立ち上げた第1回プロシューマ・エコノミー国際会議
- プロシューマー(Prosumer)の原義=プロデューサ(producer)とコンシューマ(consumer)の合成語。A・トフラーが『第三の波』(1980)で初導入、脱工業化により情報・サービス産業が中心に、消費者経済を超えて生産と消費が融合、直販、DIY、フリマ、SNS等
- プロシューマーのG4T独自解釈=地球温暖化を背景に環境配慮的、倫理的な消費者の在り方を指す。
- 会議テーマ:地域通貨、地球環境保護、フェアトレード、脱成長、ドーナツ経済学、公共善、非営利ベンチャー、連帯経済等
- 広い意味での「循環型経済」(資源・エネルギー・物質・貨幣の)を理想とする



# Good4TrustとGMLのコラボ

- Good4Trust代表Uygar ÖzesmiがGML代表西部にLinkedInで連絡
- メール、Slack、Zoomによる自己紹介、情報交換、打合わせ
- Good4Trustのマクロな集計情報の提供あり、特性と課題の把握
- IPEC 2024 (2024/05/29~31、イスタンブール開催)への参加依頼
- 地域通貨に関する基調講演(西部)とパネル(吉田、新良治、栗田、宮崎、西部)、G4T = CPSとの同定、CCとの関連、マクロ分析、課題提言
- 将来的に、個別取引の詳細情報提供に基づく調査分析(インタビュー、アンケート、データ解析)、P2P個人間取引におけるLETSへの転換(G4TとCCWalletの統合)

# Good4trustの理念

Source: Özesmi (2019), Çevirme, Satıcı and Özesmi(2023)

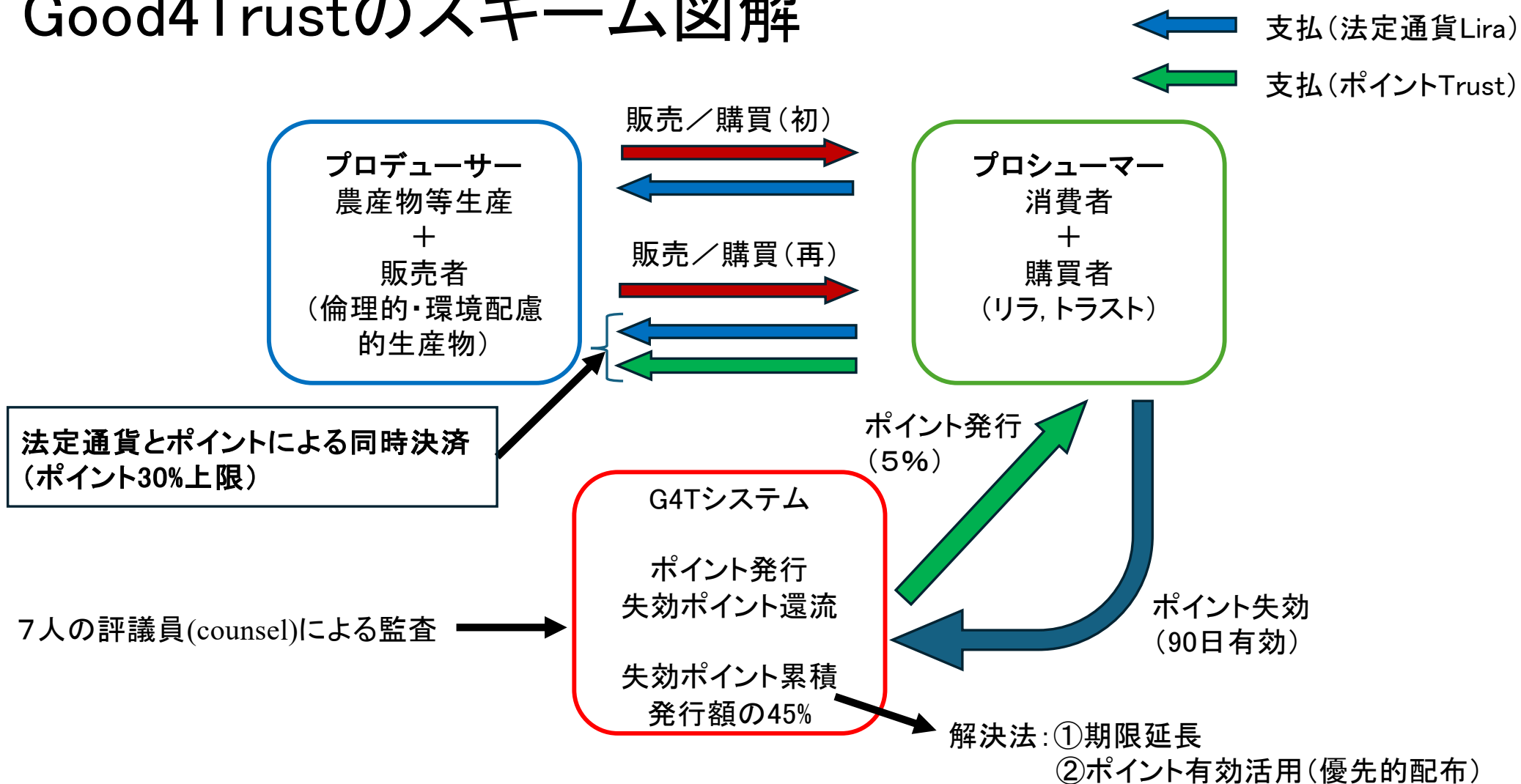
ありうべきプロシューマー経済 (Özesmi 2019, 1) とは、

- 廃棄物なし、生態系への持続的な負の影響なし、社会的搾取なし
- 湖や森のような経済生態系、地球に対して再生産的・持続的

	Type of economy	Relationships between subjects	Negative externalities
<b>Prosumer economy</b>	Circular economy	Synergistic and circular	Minimum or zero
<b>Capitalist economy</b>	Growth-based economy	Competitive	Inevitable

cf. 制度生態系(橋本・西部 2015)－制度（内なる・外なる）の多様性と動態性に基づく秩序の安定とレジリエンス

# Good4Trustのスキーム図解



# ポイントシステムGood4trustの現状

## Transaction of Trust (2023.6.2-2024.3.18)

Total Net Trusts Generated	53,192.71		
Total Net Trusts Used	17,770.86	33.4%	発行額の <b>33.4%</b> が利用、
Total Trust Holdings	11,434.48	21.5%	発行額の <b>21.5%</b> が保有、
Total Trusts Expired	23,987.37	45.1%	発行額の <b>45.1%</b> が失効

## Balance of Trust Account of Trust (2024.3.18)

Prosumer	22,725.79	42.7%	プロシューマ、プロデューサ、システムのうち、システムがポイントの最大保有者 ( <b>46.2%</b> ) →失効ポイント累積問題
Producer	5,909.37	11.1%	
System	24,557.55	46.2%	
Sum	53,192.71		



# 失効ポイントのシステム累積問題とその解決

## ■現行ポイントシステムの特徴

- ・トルコ・リラによる購買額の5%がポイント発行
- ・次回の購買以降、販売金額の30%まで利用可
- ・ポイントの有効期限は90日
- ・失効ポイントはシステムへ還流

## ■現行ポイントシステムの課題

- ・発行額の46.2%はシステムが保有

## ■課題の解決

- ・ポイントがより循環しないと経済やコミュニティは活性化しない。
- ・地域通貨CCと同じ問題点, 解決方法も同じ
- ・短い有効期間は消費を刺激するが、ポイント失効を増やす→有効期間の延長
- ・システムに累積したポイントを有効活用する→セール時のポイント付与率増、カスタマイズ・コミュニティへのポイント優先的配布→消費や個人間取引(ボランティア等) 取引の活性化

# ポイントによるプロシューマ個人間取引

- 代表のUygarによると、プロシューマの間で個人間取引があるという(クリエイティブ・ハックだという?)
- このP2P部分は非公式、取引履歴なし(ポイントの記録あり)→原資なきポイントはLETSのような使われ方
- ならば、この部分にLETSを導入し、口座ゼロから出発、マイナス残高を許容する方がいいのでは?ポイントがゼロでも、ボランティア、技能・熟練サービス、DIYによる個人間取引ができるようになるから。
- G4Tのデータ構造は主体別のBlockになっているとのこと。LETSを実装するC.C.Walletとデータ構造が違うので、どうやって統合可能か考える必要あり。

## 参考資料

- Makoto Nishibe, Masayuki Yoshida, Kenichi Kurita, Yoshihisa Miyazaki, Maen Alaraj, 'Local and Complementary Currencies' Panel on Community Currencies, 2024.5.30 14:25-15:05 Auditorium B, IPEC2024
- Makoto Nishibe, Masayuki Yoshida, Kenichi Kurita, Yoshihisa Miyazaki, Maen Alaraj, 'How to solve the Problem of Stagnation in Community Currencies' ibid.